

パーシャルデンチャー補綴学講座

講座名	パーシャルデンチャー補綴学講座	
主任教授	山下 秀一郎	
プログラム責任者名	山下 秀一郎	
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本補綴歯科学会認定医・専門医	
プログラムの特色		
<p>本プログラムは、歯科医師としての倫理観、あるべき態度や価値観を理解し、補綴治療に必要となる専門性の高い臨床技能と知識の習得を目標とする。1歯欠損から1歯残存までの多岐にわたる部分的な歯の欠損症例に対して、局部床義歯を用いて咬合回復を行うために必要となる顎口腔系全体を捉えた包括的な研修カリキュラムである。大学院生・臨床専門専修科生を問わず、入局後2年間の必須研修であり、将来的に日本補綴歯科学会認定医および専門医を取得することを前提とした項目が盛り込まれている。</p>		
プログラムの内容(補綴専門医)		
入局後	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
1年目	<p>研究: 研究テーマの決定・予備実験 臨床: 基本的項目の習得 簡単な症例への対応 臨床技能の研修: 印象採得(ロールプレイ) 筋圧形成(ロールプレイ) フェイスポートランスファー(ロールプレイ) 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 症例検討会(週1回) 英文抄読会(月1回) 非常勤講師による勉強会(随時)</p>	<p>臨床: 基本的項目の習得 簡単な症例への対応 臨床技能の研修: 印象採得(ロールプレイ) 筋圧形成(ロールプレイ) フェイスポートランスファー(ロールプレイ) 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 症例検討会(週1回) 英文抄読会(月1回) 非常勤講師による勉強会(随時)</p>
2年目	<p>研究: 予備実験, 本実験開始 臨床: 基本的項目の習得 困難な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会認定医申請資格取得</p>	<p>研究: 臨床研究テーマの決定 臨床: 基本的項目の習得 困難な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会認定医申請資格取得</p>
3年目	<p>研究: 本実験, 学会発表 臨床: 症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる</p>	<p>研究: データ収集 臨床: 咬合の再構成が必要な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる</p>
4年目	<p>研究: 論文作成, 学位申請</p>	<p>研究: データ収集・学会発表 臨床: 症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる</p>

パーシャルデンチャー補綴学講座

5年目	<p>研究: 継続研究の開始 臨床: 咬合の再構成が必要な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会専門医申請資格取得</p>	<p>研究: 論文作成 臨床: 症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会専門医申請資格取得</p>
6年目以降	<p>研究: 継続研究 臨床: 症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会専門医申請資格取得</p>	<p>研究: 継続研究の開始 臨床: 症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月1回) 技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会専門医申請資格取得</p>

●本務教員で認定医等の有資格者
 (指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載)

<p>日本補綴歯科学会 指導医: 山下秀一郎、堀田宏巳、田坂彰規 専門医: 加藤芳実 日本老年歯科医学会 指導医: 田坂彰規 専門医: 大平真理子 摂食機能専門歯科医師: 大平真理子</p>	<p>日本口腔インプラント学会 専門医: 山下秀一郎 専修医: 田坂彰規 日本顎関節学会 指導医: 山下秀一郎 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士: 大平真理子</p>
---	--